

個人質問

29人の議員が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

教育・防災



地産地消を推進する学校給食

学校給食への地場産農産物の利用促進

問 生産農家と学校給食を結び付ける取り組みは。

答 学校給食に地場産農産物の利用を図るため、関係者に農産物の出荷時期一覧表や直売所マップなどの情報提供を行ってきた。また、平成22年12月、小学校の給食担当者にアンケート調査を実施し、課題等を把握した。

今後は、関係者に農産物の納入を希望する生産者を紹介するなど、生産農家と学校給食を結び付ける取り組みに努め、地産地消を推進したい。

教育現場だけでは解決困難な事例への対応

問 ①教育委員会への相談件数と対応は。②教師の対応能力向上の取り組みは。③東京都のように専門家による学校問題解決サポートセンターを設置しては。

答 ①平成22年度の学校、保護者、地域からの相談や苦情は約1,600件で、学校と連携し対応している。特に解決が難しい事案は、民生委員、主任児童員、

医師、警察、こども総合相談所、福祉事務所等と連携したネットワーク会議を開催し、校長や担当者が直接弁護士に相談できる場を定期的に設けている。②要望や苦情についての考え方や対応方法の事例集を各学校に配付しており、23年度からクレーム対応研修講座を開設した。③取り組みの成果や課題を参考に調査研究を進めていきたい。

情報システムやネットワークの防災対策

問 住民基本台帳などの個人情報管理はどのような防災対策を取っているのか。

答 市の業務は情報システムやネットワークなしでは成り立たないものが数多くあり、平成23年3月にICT部門における業務継続計画を策定した。

第1段階として、住民記録システムを含む重要な13システムを選定し、業務継続計画の運用に向けた準備を進めている。

現状は、システム及びデータを定期的にバックアップして、庁外の別の場所に保管しているが、さらに災害に強いシステムのあり方等について、研究していく。

中学生の武道必修化

問 平成24年度から武道が中学生の授業で必修化されるが、生徒の安全確保の取り組みは。

答 保健体育科教員を国、県実施の武道実技研修会や研究発表

会に参加させ、指導力の向上を図るとともに、参加した教員が市内の教員に内容を伝達したり、研究発表を行うなど、市全体の教員の指導力向上に努めてきた。23年9月には武道指導での安全管理やけが防止を重点とした市独自での講義と実技研修を行う予定である。

不登校の子どもへの支援

問 取り組みと未然防止策は。

答 スクールカウンセラーや不登校児童生徒支援員を学校に配置し、保護者や子どもの相談を受け、登校できにくい子どもの付き添いや登校後に教室へ入れない子どもへの支援をしている。

不登校の子どもには、教育相談室や家庭を訪問しての相談を行い、適応指導教室に通っている子どもには、学習や調理、栽培等の成功体験を積むことで自信回復を図るなど、学校復帰に向けた支援を行っている。

また、平成23年度から、欠席者の報告基準を月7日以上から3日以上に変更し、不登校の未然防止とともに、教員が早期に対応できるようにしている。

自主防災組織率の向上

問 政令市で最下位の本市の自主防災組織率を、いつまでに何パーセント上げるのか。

答 自主防災会だけの組織率は、平成22年度末で27%であり、岡山市都市ビジョンでは、27年度までに40%を目標としている。東日本大震災を踏まえ、市民の防災意識は非常に高まっており、今後は町内会等で

実施している消火訓練や応急手当訓練、出前講座等で自主防災

組織の重要性を広報し、一層の組織率向上を図りたい。

福祉・環境

高齢者虐待の早期発見

問 体制づくりを進めるとともに、郵便や新聞などの宅配業者等の協力も必要では。

答 地域包括支援センターを中心に、民生委員や警察、医療機関、安全・安心ネットワークなどの地域組織との連携を強化し、小地域ケア会議を開催するなど、きめ細かく対応している。

また、財団法人リーガル・エイド岡山と高齢者虐待防止アドバイザー契約を締結し、法的なトラブルに対しては、弁護士などの専門家が現地へ同行訪問するなど、早期の対応も行っている。今後は、高齢者宅の異変に気づいた場合の情報提供について、新聞販売所などとも協力体制の構築を図っていききたい。

発達障害者とその家族への支援

問 発達障害者の親の会へ積極的に関与してはどうか。

答 親の会からは、支援ファイルの作成や研修会・懇談会などを通して、子育ての体験や学校園・医療機関等の支援者に対する思いなどの意見をもらっている。今後も連携を深め、保護者同士が互いの思いを共感し、サポートし合えるような関係づくりも踏まえた、よりよい支援のあり方を検討していききたい。

民間との協働による

生活困窮者の自立支援

問 ホームレス対策事業を参考に、生活困窮者を自立に導くための民間との協働についての考えは。

答 本市のホームレス対策事業では、入所者の約3分の2が就労

による自立を果たしている。

国においては、「福祉から就労へ」という方針の中で、ボーダーライン層などを対象に、雇用・就労支援を中心とした新たな施策を展開し、生活困窮者の「絆」を再生しようと取り組んでいる。そうした国の動きを受け、今後ともNPOなどとの協働・連携も含め、必要な取り組みを検討したい。

地域担当職員の役割

問 平成23年度から16の地区公民館に配置した地域担当職員に、地域の見守り、災害時のネットワークを住民とともに作る役割を。

答 地域担当職員の業務は、①安全・安心ネットワーク活動のサポートやコーディネート②本庁・区役所との連絡・調整③地域包括支援センター、社会福祉協議会などとの協働による地域福祉向上の取り組みへの参画などである。地域課題は地域で解決するという共助の考えから、安全・安心ネットワーク活動に対しては、あくまで側面からのサポート役と考えている。

今後果たすべき機能、役割は地域と協議したい。

サブセンター方式の見直し

問 地域包括支援センターの地域相談窓口であるサブセンターがなくなった場合、今後の対応はどうするのか。

答 地域包括支援センターは、活動基盤を中学校区単位から小学校区単位へ変更するとともに、平成23年度に職員を6名増員して体制を強化し、サブセンター業務を順次、委託からふれあい公社の直営にしている。

サブセンター方式は、市の方針が伝わりにくいなどの課題もあり、24年度から始まる第5期介護保険事業計画を策定する中で、地域包括支援センターの体制の充実、組織のあり方などについても検討したい。

アユモドキの生態分布調査

問 産卵場所を複数確保するための取り組みは。

答 アユモドキは、産卵場所の分布や産卵数などがいまだ十分に究明されていないため、平成23年度から、緊急性の高い賞田地区周辺の生態分布調査に着手した。

また、同地区周辺の水辺の既存施設については、所管の各部署で産卵場所としての可能性を検討するとともに、淡水魚の専門家から意見を聞くなど、必要に応じた整備の具体化を模索している。



天然記念物のアユモドキ

観光・経済・まちづくり



魅力的な観光資源～吉備の中山～

吉備の中山

問 観光の観点から、もっと多くの人に楽しんでもらっては。

答 古くから都にもその名が知られ、吉備の歴史を今に伝える重要な場所で、観光面からも吉備路散策に欠かせないエリアである。

また、古代から^{※9}神奈備山として崇められてきたパワースポット、桃太郎伝説の舞台、健康志向のトレッキングコースなどの魅力的な資源であり、今後、映像コンテンツを制作・活用するなど、国内外に向けて新たな情報発信をしていきたい。

福渡高等学校の跡地活用

問 跡地活用事業のスケジュールは。

答 実施工程表の改訂については、施設所有者である岡山県教育委員会との譲渡に向けた協議で、一定の整理・進展が図られたため、平成23年5月の新市建設計画等推進本部会議に諮り、事業の終期を25年度に変更した。

跡地施設の活用方針については、地域との調和、地域への貢献という視点を重視した、福渡高校跡地施設の活用方針の策定作業を急いでおり、23年の早い

時期に示せるようスピード感を持って取り組んでいきたい。

シティプロモーション事業 海外で初の取り組み

問 首都圏、海外でのプレゼンテーション、観光プロモーションを具体的に。

答 東京では、7月27日にフルーツを活用したプロモーション、7月29日はコンベンション主催者、旅行業者、企業、マスコミ等に、観光・コンベンションの誘致や企業進出、定住促進を目的としたプレゼンテーションを行う予定である。

海外では、初の取り組みとして、7月に北京、8月に台湾で岡山県知事とのダブルトップセールスを実施する。

また、本市単独では、7月に香港で、9月には、洛陽市との友好都市締結30周年記念事業と合わせ、上海市、洛陽市で実施予定である。

道路整備計画の妥当性と今後の方針

問 何十年も前から道路計画は、現在においても妥当なのか。維持管理も含めた今後の方針は。

答 何十年も前から道路計画は、現在においても妥当なのか。維持管理も含めた今後の方針は。

また、本市単独では、7月に香港で、9月には、洛陽市との友好都市締結30周年記念事業と合わせ、上海市、洛陽市で実施予定である。

答 都市計画の決定後、長く整備の見通しが立たない路線もあることから、平成23年3月に都市計画道路の大幅な見直しを行った。107路線、総延長323キロメートルから、川入箕島線の一部などを廃止し、105路線、総延長308キロメートルに再編した。

今後は、環状線など事業効果の高い路線を重点的に整備したい。これまでに整備した道路については、ライフサイクルコストの低減を図るため、橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的な維持管理に努めたい。

自転車先進都市おかやま事業

問 ①有料レンタサイクル社会実験はどこで、いつから実施するのか。②駅前商店街や桃太郎大通りの駐輪対策は。

答 ①市内中心部にサイクルステーションを設置した有料のコミュニティサイクル社会実験を平成23年秋ごろから実施する。②短時間の駐輪の場合、目的地の近くに自転車を放置する傾向があることから、23年度は、多頻度に小規模な駐輪施設等を設置する取り組みを試行的に実施する。



平成22年に実施したレンタサイクル社会実験

用語解説 ※9 神奈備山
神の鎮座する山

※10 映像コンテンツ
伝えたいものを映像や音響技術などさまざまな技術を駆使して表現したもの